

# その「物語」、の物語。

“ペログリ”的複眼思考の味わい vol.001

## a taste of Y'assy

### 田中 康夫



たなかやすお ● '56年生まれ。衆議院議員、新党日本代表、作家。  
'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選。  
'09年8月の衆議院選挙で兵庫8区から立候補し当選。【公式ブ  
ログ】 [http://blog.livedoor.jp/dream\\_yassy/](http://blog.livedoor.jp/dream_yassy/)



## “心智”を抱き続ける意欲と覚悟。 同語反復の世界が始まる

### 今週の逸品



### 白トリュフと蝦夷鹿のロースト イルマンジャーレ

骨で出汁を取った蝦夷鹿を赤ワインで煮詰  
め、ウンブリア州で採れた白トリュフと共に  
味わう逸品。イル・マンジャーレは定休  
日無し。午餐は2500円、4500円。晚餐は前  
菜・パスタ・主菜・食後で6800円のプリフ

ィックス。選択可能な料理は数多く、ワイ  
ンの価格も極めて良心的。全卓禁煙。  
●東京都港区麻布十番1-9-2 ユニマット麻  
布十番6階 ☎03-6459-1557  
<http://www.ilmangiare.com/>

illustration by Hajime Anzai



も知れません。

同居4年、交際14年。「東京ペ  
ログリ日記」にも登場してきたW  
嬢との婚姻届を提出した10月28日  
晩餐の場として2人が選択したの  
は、鶴野秀樹氏が営む麻布十番の  
イル・マンジャーレ。以前に好ん  
だ惹句で形容すれば、「真つ当な  
料理店」だからです。

初めて彼の料理を食したのは、  
彼女と知り合う以前の90年代初頭。  
民家とも商店とも付かぬ舞臺た屋  
を改造した、目黒不動尊から程近  
いドルチェエ・ヴィータには、クラ  
シカルなスポーツカーに乗った、  
訳有り風な常連客が集って、とも  
すれば、緊張感が稀薄なお仲間サ  
ロンに墮してしまいうような空間で  
した。が、豈図らんや、彼が繰り  
出す料理は往時から誠実で、実体  
が伴っていたのです。

その後、とある起業家の妻の弟  
に当たる人物が展開したイタリア  
料理店で総料理長を務めた時期も、  
料理は屹立してました。2年前  
に開業したイル・マンジャーレも、  
その上層階には泡沫経済期に粉れ  
込んだかと錯覚するラウンジバー  
が位置しています。

表層的には、歴史的には、凡そ  
僕が好まぬ「物語」の持ち主です。  
いや、田中康夫を食わず嫌いな読  
者は、それこそは君に相応しい物  
語の料理人だよ、と呟くかも知れ  
ません。「その「物語」、の物語。」  
同語反復の世界が始まります。

経済は「歴史現象」。同じく科学  
も「自然現象」。ですから、2度と  
同じ事は起こり得ません。

そんな苦はない。と、偏差値優  
等生。な経済人や科学者は、いき  
り立つでしょう。

でも、「純粋数学」を除けば、経  
済も科学も答えは一つだけでなく、  
だから、統計学や確率論と称する  
濡れ手で粟な「ビジネス」も  
成り立っているのです。

設問次第、設定次第で白とも黒  
とも、変幻自在に数値を誘導し得  
る「世論調査」、「市場調査」は象

徴的です。科学は「科学」なので  
す。言わずもがな、鉤括弧は「所  
謂。」を意味します。

その「物語」、の物語。  
一見不可解な題名も、副題「ペ  
ログリ」的複眼思考の味わい」と  
併せて今一度、眺め直したなら、  
いかにも田中康夫らしい言い回し  
だぜ、と感じるでしょう。

真実だと思いついでいた、若し  
くは思い込まされてきた「事実」  
が、虚像や虚飾に過ぎなかったと  
判明する、或いは疑問視される事  
態が相次いでいます。送り手の「智

性」の劣化が進む一方で、受け手  
の「勤性」の深化が進んだのも、  
その理由でしょう。

話を冒頭に戻せば、経済や科学  
に留まらず、政治も恋愛も、2度  
と同じ事は起こり得ないのです。  
そうして料理も、2度と同じ味に  
は触れ得ないのです。

が、だから、面白いのです。だ  
からこそ、細部を探索する蟻の目、  
全体を俯瞰する鳥の目、更には潮  
流を察知する魚の目。「智性・勤  
性・温性」にも似た「心智」を抱  
き続ける意欲と覚悟が肝要なのか